

タマイM&S株式会社

環境経営レポート 2023

発行日：2024.3.31

対象期間：2023.4.1～2024.3.31

タマイM&S株式会社

代表取締役社長 富川慎吾

大分県大分市中戸次 5170-3

目次

1、組織の概要	p 2
2、実施体制	p 4
3、環境経営方針	p 6
4、中長期の環境経営目標	p 7
5、環境経営計画と実施状況	p 8
6、単年度の環境経営目標とその実績・評価、次年度の取組	p 9
7、環境関連法規制への違反、訴訟等の有無	p 10
8、代表者による全体評価と見直し	p 11

1、組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

タマイM&S株式会社

代表取締役社長 富川慎吾

(2) 所在地

【既存の事業所】

本社 大分市中戸次 5170-3

プレカット第一工場 大分市竹中 4972

プレカット第二工場 大分市竹中 4908-2

竹藪作業場 大分市竹中 4946-2

【拡大対象の事業所】

サッシセンター 大分市中戸次 3774-4

不動産部 大分市高城西町 8-15

(3) 環境保全関係の責任者及び連絡先

環境管理責任者：総務 浦松 和浩

環境管理担当者：総務 富川 茜

連絡先 TEL 097-597-1122

FAX 097-597-1101

メール a.tomikawa@tamai-ms.jp

(4) 事業内容

住宅用資材のプレカット加工製造、
新建材及び住宅用設備機器の卸売り

(5) 事業規模

		対 象 期 間
指標	単位	(2023年 4月～ 2024年 3月)
工事等の件数	件	15
従業員数	人	68
売上高	万円	270,828
本社事務所床面積	m2	1,229
サブ事務所床面積	m2	265
不動産事務所	m2	62
サッシ事務所床面積	m2	99
本社倉庫床面積	m2	898
サブ倉庫床面積	m2	595
サッシ倉庫床面積	m2	280
竹やぶ作業場床面積	m2	1,951
プレカット第一工場・作業所等床面積	m2	8,999

(6) 事業年度

4月～3月

(7) 対象範囲

・事業活動

既存活動 : 住宅用資材のプレカット加工製造、
新建材及び住宅用設備機器の卸売り

拡大活動 : サッシの組み立て取り付けと販売、不動産仲介

・対象事業所

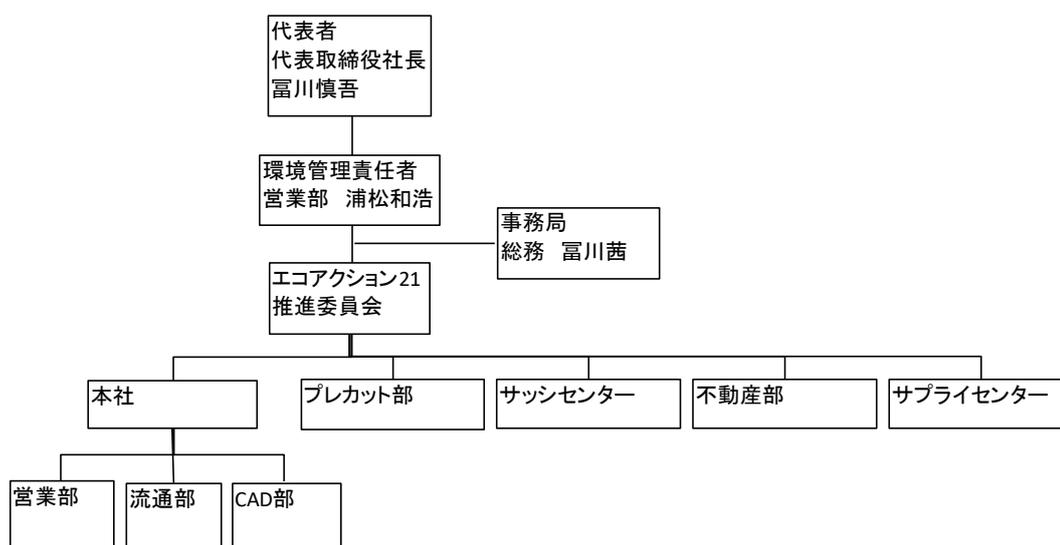
既存事業所 : 本社、プレカット第一工場、プレカット第二工場、
竹藪作業場

拡大事業所 : サッシセンター、不動産部

2、実施体制

作成日 2023年4月1日

① EA21 組織図



	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境方針を定める ・環境目標及び環境活動計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション 21 推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・各部門の環境目標、環境活動計画、実施体制の確認と全体調整 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境活動レポートの確認
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、エコアクション 21 推進委員会の事務局 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境活動レポートの作成
エコアクション 21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境目標、環境活動計画の伝達 ・全社の意思統一、意見交換及び相互・全体評価の実施 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・効果的な環境活動に向けての提案・意見の交換
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境活動及び環境活動計画の企画・作成・実施 ・自部門における環境活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する ・自部門に必要な手順書などの作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針、環境目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

3、環境経営方針

■基本理念

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が人類共通の重要課題と考えています。

木材のプレカット加工などの事業活動における環境負荷の低減や社会に貢献する製品の開発をめざし、全社一丸となって自主的・積極的に環境への取組みを進めてまいります。

■行動指針

1 具体的に次の事に取り組めます。

- ①電力・化石燃料などの消費に伴う二酸化炭素排出量を削減する。
- ②使用原材料の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)を推進する。
- ③水資源を大切にするため節水に努める。
- ④原材料及び事務用品のグリーン購入に努める。
- ⑤環境に配慮した製品の販売、サービスを促進する。
- ⑥事業所周辺に清掃活動を推進する。

これらについて環境経営目標、環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます

2 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3 この環境方針は全社員に周知するとともに社内外に公表します。

制定日：2022年4月1日

タマイM&S株式会社

代表取締役社長 富川慎吾

4、中長期の環境経営目標

各年度の対象期間は、4月～翌年3月

(環境経営目標は、前年度の実績の△1%とする。)(基準年度：前年度)

電力のCO2調整後排出係数は、九州電力平成30年度の0.347kg-co²/kWhを使用

環境経営方針の番号	選択課題	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
			年間実績 (基準年度)	年間目標	年間目標	年間目標	年間目標
1	二酸化炭素排出量削減	Kg-CO2	475,744	480,549	475,744	470,987	466,277
1-1	電力消費量削減	kWh	701,738	708,826	701,738	694,721	687,773
1-2	ガソリン消費量削減	L	18,502	18,689	18,502	18,317	18,134
1-3	軽油消費量削減	L	73,378	74,119	73,378	72,644	71,918
1-4	灯油消費量削減	L	0	0	0	0	0
2	廃棄物のリサイクル率の向上	%	97	98	99	100	100
3	水使用量削減	m ³	691	684	677	670	664
4	国産材の使用率の向上	%	85	86	86	86	86
5-1	地域の清掃活動実施	回	3	3	3	3	3
5-2	端材の提供	-	地域の方へ端材の提供を行った	地域の方へ端材の提供を行う	地域の方へ端材の提供を行う	地域の方へ端材の提供を行う	地域の方へ端材の提供を行う

5、環境経営計画と実施状況

実施状況確認日：2024.3.31

環境経営方針の番号	目標課題	具体的な行動(活動)	本社担当者	実施状況	プレカット工場担当者	実施状況	サブライセンター担当者	実施状況	サッシセンター担当者	実施状況	不動産部担当者	実施状況
1、二酸化炭素排出量の削減	1-1 消費量削減 電力	1.冷暖房設定温度の厳守。夏28℃冬20℃を基本とする。	首藤	△	-	-	泥谷	×	池辺	×	太神	×
		2.OA機器の退社時電源OFFする。	首藤	△	-	-	泥谷	○	池辺	○	太神	○
		3.空調機フィルターの清掃をする。(7月、11月、3月)	平田(電)	△	-	-	泥谷	×	池辺	×	太神	△
		4.不必要箇所の照明を消す。	首藤	○	荒金	△	泥谷	○	池辺	○	太神	△
		5.工場の休憩時間内の不要電源を落とす。	-		荒金	×	泥谷	○	池辺	○	-	
	1-2 消費量削減 ガソリン	1.エコドライブの推進。急加速急停車をしない。	篠田(尚)	○	-	-	泥谷	○	池辺	○	太神	○
		2.アイドリングストップする(荷物積み下ろし中のエンジン停止)	篠田(尚)	○	-	-	泥谷	○	池辺	○	太神	○
		3.タイヤ空気圧のチェック(毎月最初の給油時)	篠田(尚)	○	-	-	泥谷	○	池辺	○	太神	○
		4.不要な荷物を積まない。	篠田(尚)	○	-	-	泥谷	○	池辺	○	太神	○
	1-3 消費量削減 軽油	1.エコドライブの推進。急加速急停車をしない。	松村	○	荒金	○	泥谷	○	池辺	○	-	-
		2.アイドリングストップする(荷物積み下ろし中のエンジン停止)	松村	○	荒金	×	泥谷	○	池辺	○	-	-
		3.タイヤ空気圧のチェック(毎月最初の給油時)	松村	○	荒金	○	泥谷	○	池辺	○	-	-
		4.フォークリフトの動線最短化	松村	○	荒金	○	泥谷	○	池辺	○	-	-
2	排出量削減 廃棄物	1.ゴミの分別を徹底する。	富川(茜)	○	荒金	△	泥谷	○	池辺	○	太神	△
		2.リサイクル可能ゴミの確認とその周知を徹底する。	富川(茜)	○	荒金	△	泥谷	○	池辺	○	太神	△
		3.コピー用紙の裏側利用を推進する。	富川(茜)	○	荒金	○	泥谷	○	池辺	○	太神	×
		4.養生材の再利用	富川(茜)	○	荒金	○	泥谷	○	池辺	○	太神	△
3	使用量削減 水	1.節水シールを貼り意識を喚起する。	富川(茜)	○	-	-	-	-	-	-	-	-
		2.洗いものはまとめてする。	富川(茜)	△	-	-	-	-	-	-	-	-
		3.洗濯はタイマーをかけ、忘れない。	富川(茜)	×	-	-	-	-	-	-	-	-
4	販売促進 環境配慮 製品の	1.県産材の使用を薦める。	篠田(尚)	○	-	-	-	-	-	-	-	-
		2.従来の防蟻処理の代わりにホウ酸を薦める。	篠田(尚)	○	-	-	-	-	-	-	-	-
		3.従来の防蟻処理の代わりにハウスガード材を薦める。	篠田(尚)	○	-	-	-	-	-	-	-	-
5	社会貢献 への	1.所属団体や公共機関のボランティアに参加する(年1回)。	富川(茜)	○	-	-	-	-	-	-	-	-
		2.地域の清掃活動を年4回(10月、2月、6月)行う。	富川(茜)	○	-	-	-	-	-	-	-	-
		3.地域住民へ端材の提供を続ける。	松村	○	-	-	-	-	-	-	-	-

6、 単年度の環境経営目標とその実績・評価、次年度の取組

各年度の対象期間は、4月～翌年3月

環境経営方針の番号	選択課題	単位	2022年度 ※基準年度				2023年度				取り組みの評価		
			年間目標 (A)	年間実績 (B)	プレカット加工 1坪当たり 年間実績	売上高 100万円 当たり 年間実績	年間目標 (A)	年間実績 (B)	プレカット加工 1坪当たり 年間実績	売上高 100万円 当たり 年間実績	目標 達成率	○:100% 以上 △:90% 以上 ×:90% 未満	評価コメント
1	二酸化炭素排出量削減	合計	480,549	475,744	19.92	173.88	480,549	535,807	23.45	197.86	90%	×	二酸化炭素排出量は増加し目標未達成となった。また、加工坪数当たりの排出量も増加した。PC加工以外の配達も増加した。売上は横ばいであるのに対し二酸化炭素排出量が増加している原因は近年の異常気象が一因と考えられる。 目標達成となった。しかし加工坪数当たりの電力消費量は増加している。特殊加工機R5.10に導入したが、その影響は少ないと考える。
		サッシ・不動産以外 サッシ・不動産					-	503,341	22.03	185.87	-	-	
	合計	708,826	701,738	29.39	256.48	708,826	700,693	30.66	258.75	101%	△		
	サッシ・不動産以外 サッシ・不動産					-	687,617	30.09	253.92	-	-		
						-	13,040	0.57	4.82	-	-		
1-1	電力消費量削減	合計											
		サッシ・不動産以外 サッシ・不動産											
1-2	ガソリン消費量削減	合計	18,689	18,502	0.77	6.76	18,689	20,472	0.90	7.56	91%	△	目標未達成となった。営業部・CAD部の人員が増加したことが原因の一つと考える。今後の車両入替の際は、環境負荷の低い車両を検討する予定。
		サッシ・不動産以外 サッシ・不動産					-	17,986	0.79	6.64	-	-	
1-3	軽油消費量削減	合計	74,119	73,378	3.07	26.82	74,119	95,073	4.16	35.11	78%	×	目標未達成となった。外注の作業員(燃料・車両支給)を頼まなくなったこと、配送の人員が増加した。大型物件等の遠方の現場が増えたことや、個別配達回数が増えたことが原因の一つと考える。今後とも社員の削減意識向上に努める。
		サッシ・不動産以外 サッシ・不動産					-	8,635	0.38	3.19	-	-	
1-4	灯油消費量削減	合計	0	0	0	0	0	0	-	-	-	目標達成となった。対象の機械無し。	
2	廃棄物のリサイクル率の向上	合計	91	97	-	-	98	98	-	-	100%	○	古紙・木材の端材等はリサイクルしている。プラは継続して分別する。
		サッシ・不動産以外 サッシ・不動産					-	99	-	-	-	-	
3	水使用量削減	合計	692	691	0.03	0.25	684	887	0.04	0.33	77%	×	今後とも社員の削減意識向上に努める。
		サッシ・不動産以外 サッシ・不動産					-	819	0.04	0.30	-	-	
	国産材の使用率の向上	合計	85	85	-	-	86	84	-	-	98%	△	目標未達成。ウッドショックの影響で、2021年5月頃から外材が入手困難となったが、現在は解消している。施主に対する補助金を案内するなどして補引き続き、県産材を使用するように工務店に提案している。地産地消の意義をさらに周知していきたい。
		サッシ・不動産以外 サッシ・不動産					-	68	0.00	0.02	-	-	
5-1	地域の清掃活動実施	回	3	3	-	-	3	3	-	-	100%	○	事業所の周辺地域のごみ拾い、草刈りを行った。今後も継続する。
5-2	端材の提供	-	地域の方へ端材の提供を行う	地域の方へ端材の提供を行った	-	-	地域の方へ端材の提供を行う	地域の方へ端材の提供を行った	-	-	100%	○	地域の方々に喜ばれている。今後も継続する。

※電力のCO2調整後排出係数は、九州電力平成30年度の0.347kg-co²/kWhを使用

※2022年4月～2023年3月 プレカット加工坪数：23,878坪 売上高：2,736,000,000円

※2023年4月～2024年3月 プレカット加工坪数：22,851坪 売上高：2,708,280,000円

7、環境関連法規等のとりまとめ及び遵守評価

環境関連法規への違反、訴訟はありません。

苦情も無し。

環境法規制登録表

作成日：平成 30年5月1日

遵守評価日：令和6年3月31日

法規制等	適用内容	対象設備、施設	遵守事項(法規制/自主規制)	頻度等	記録	遵守評価
廃棄物処理法	産業廃棄物の保管	産業廃棄物置場	(法規制) 1.表示板の設置 2.清掃、漏えい防止	常時 1回/週		○ ○
	委託契約書	委託業者	(法規制) 1.委託契約書(書面)	契約時	委託契約書	○
	マニフェスト管理	委託業者	(法規制) 1.マニフェストの発行、管理 2.各票の受領確認	処理委託時 発行後	マニフェスト マニフェスト	○ ○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	産業廃棄物	(法規制) 1.マニフェストの集計 2.産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出	期末	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	○ ○
家電リサイクル法 PCリサイクル法	テレビ・エアコンの廃棄 PC・周辺機器の廃棄	テレビ、エアコン、パソコンなど	(法規制) 1.廃棄時の適正処理(発生時のみ) 2.リサイクル料支払い(発生時のみ)	支払い時 廃棄時	領収書 業者報告書等	- -
自動車リサイクル法	社有車の適切な廃棄	社有車	(法規制) 1.廃棄時の適正処理(発生時のみ) 2.リサイクル料支払い(発生時のみ)	支払い時 廃棄時	領収書 業者報告書	○ ○
浄化槽法	浄化槽の保守点検、 清掃及び定期検査	浄化槽	(法規制) 1.浄化槽の保守点検及び清掃 2.定期検査	1回/年 1回/年	保守点検清掃報告書 定期検査報告書	○ ○
フロン排出抑制法	業務用の空調機器	空調設備の室外機	(法規制) 1、対象の空調設備全ての機器の簡易点検 2、廃棄時の適正処理(発生時のみ)	1回/3か月	点検の記録 取引書、領収書など	○ ○

8、代表者による全体評価と見直しの結果

会社名	タマイM&S株式会社	
見直し実施日	令和6年3月31日	
出席者	代表取締役社長 富川 慎吾	
	環境管理責任者 浦松和浩	
	事務局 富川 茜	
環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント
1 環境関連法規等の遵守状況確認結果	特に問題はなかった	問題なし
2 環境経営目標の達成状況	電力消費量の削減は目標をわずかに下回った。また、加工坪数当たりの電力消費量も増加している為工程の効率はよくない。 さらに、石油燃料はガソリン・軽油共に多く消費しており、トータルして二酸化炭素排出量が増加している。	前年度とプレカット加工坪数と電力消費量は、ほぼ横ばいであった。それにもかかわらず石油燃料が増えたことは、配達員の増加と、配送を外注に依頼することを辞めたことが大きな原因となっている。売上高に対する二酸化炭素排出量が増加していることはとても遺憾である。
3 環境経営計画の実施状況	社員それぞれへゴミの分別と回収サイクルを定着させることができてきた。更にリサイクル率の向上を図りたい。	着実に行えている。今後も意識付けに努める。
4 問題点の是正、予防の状況	石油燃料(車両燃料)の使用が大幅に増えている。売上が増加したことが一因である。	石油燃料の増加に関しては、配車を見直し、効率化を行うべく、声掛けと管理を徹底していきたい。
5 外部からの苦情の有無及び対応結果	なし	問題なし
6 環境上の緊急事態の訓練結果及び、対応結果	大分市のシェイクアウト訓練に参加し、社員の意識付けが出来た。	問題なし
7 その他	なし	なし
見直し代表者の必 要 指 示 判 断 と	①環境経営方針	継続する
	②環境経営目標	継続する
	③環境経営計画	継続する
	④実施体制	継続する
	その他の指示	今後も地産地消の商品の良さをお客様に伝え、環境に良い商品の販売に力を入れる。